

【みさき】
「おはようございます……っと。ふふっ、まだぐっすり眠っていますね」

【みさき】
「まあ、昨晚は激しかったですからね……。せっかくの休日ですし、もう少しだけ寝かせておきましょうか」

【みさき】
「ただ……ふふっ、可愛い寝顔ですね。ジッと見ていたくなっちゃいます……」

【みさき】
「んふっ、子供みたいな寝返り打っちゃって……どんな夢見てるのかなー？」

【みさき】
「私の夢……みたいです。って……あれ？　なんかあそこが大きく膨らんでいるような……」

【みさき】
「そ〜っと……………や、やっぱり固くなってます……」

【みさき】
「あ、あれだけした日の朝でも男の人は大きくなるものなんですね……す、すごいです……」

【みさき】
「それで、え、えっと……これはやっぱりその気持ち良くしてあげたほうがいいんでしょうか……？」

【みさき】
「なんだか少し寝苦しそうですし……よし！」

【みさき】
「これも彼女としての大事な役目ですよっ！」

【みさき】
「そ、それじゃあ失礼して……………」

【みさき】
「お、おっきい……………くんくん。夜の残り香が……くんくん……これ、癖になる匂いです……」

【みさき】
「さてと……起こさないようにゆっくりと……ぱくっ」

【みさき】
「んっ……んちゅっ……じゅるっ……じゅっ、ん……じゅぽっ……はぁあっ」

【みさき】
「すごい……おちんちんからまた一段とエッチな匂いがしてきました……な、なんだか私もその気になってきちゃいますね、これ……はむっ」

【みさき】
「じゅぷっ……ちゅぷっ……んんっ……ふぁっ……あっ……じゅるっ……じゅぽっ……」

【みさき】
「じゅるるっ……んっ……おちんちんはこんなに元気なのに、君はまだ起きないんですか……？」

【みさき】
「じゃあこんなのは……んっ……れろっ……どう、ですか……？　根本……から、先っぽまで……じっくり……と、れろお……れろんっ」

【みさき】
「んちゅっ……はぁっ、んっ……れろっ、れろお……んふっ……先っぽからエッチな汁、垂れてきました……れろっ」

【みさき】
「んふっ、今びくびくってしました……寝てても気持ちいいのわかるんですね……はむっ……んっ……じゃあもっといっぱいしてあげちゃいましょう」

【みさき】
「れろっ……んちゅっ……こうして、先っぽを舐めながら……よいしょ、っと……シコシコ……シコシコ……」

【みさき】
「んっ、んちゅっ、んはぁっ……すごい、まだおっきくなってる……と、というかこれはもうさすがに起きてます……よね？」

【みさき】
「へえ〜、まだ嘔眠を続けるつもりなんですか？」

【みさき】
「君の口で気持ち良いて言ってくれないと、これ以上続けてあげませんよ……？」

【みさき】
「ふふっ、やっぱり起きてるじゃないですか。さっきからずっと小さな吐息漏れてましたし、もうバレバレでしたよ？」

【みさき】
「そ、そうですね……もし仮に君がずっと起きなかった場合は、この元気なおちんちんを使ってオナニーをしてた……………かもしれません」

【みさき】
「そういう君だって朝からこんなに大きくしちゃってるじゃないですか……」

【みさき】
「んちゅっ……ん、れろお……んふっ、先っぽからはずっとエッチな汁が垂れていますし」

【みさき】
「えへへっ、ありがとうございます。それでどうしますか？ 最後まで……しますか？」

【みさき】
「パ、パイズリですかっ！？ た、確かに昨日の夜はしなかったですが……わかりました」

【みさき】
「ちょっと待ってくださいね？ 今服を脱ぎますので……」

【みさき】
「では……よい、しょっつ……ふああ……君のおちんちん、すごく熱いです……」

【みさき】
「このままじゃ火傷しちゃいそうですね……そしたらこう……じゅるっ……んんーっ……はあっ、あっ……」

【みさき】
「そ、そうですか？ ではおまけしてもう一度……んうっ、じゅるっ、んんー……っ」

【みさき】
「このぐらいでいいかな……？ 最初はゆっくり動きますので、もし痛いところがあったら言ってくださいね？」

【みさき】
「んっ、んっ……ん、ふう……はあっ、あ……ど、どうでしょう……？」

【みさき】
「んうっ、ん……ありがとう、ございます……っん、はあっ……よい、しょっつ……う、んあ……あう……」

【みさき】
「はあっ、はあっ、んんっ……な、なんだろう……君の……おちんちんが、擦れて……はあっ、んっ……」

【みさき】
「はあん、んっ……な、なんだか気持ち良くなってきちゃいました……あ、はあっ……あんっ！ ん～っ、ああっ……」

【みさき】
「このまま……ですか？ わかり、ました……んれろっ。ぺろっ……んっ、ぴちゅっ……ぺろ、ぺろお……うふっ……あっ……」

【みさき】
「よい、しょっつ……んれろっ、れろお……ん、しょっつ……んちゅっ……んちゅるっ……はあっ、あっ……」

【みさき】
「んはあっ、あっ……ぐちゅぐちゅって……いやらしい音がしています……んふふっ」

【みさき】
「私の唾液と、君のエッチな汁が混じり合って……ふふっ、にゆるにゆるってしてる……」

【みさき】
「んんっ、ん……はあっ、あんっ……ん、しょっつ……よい、しょっつ……ふ、んう……」

【みさき】
「……えへへっ、朝から君とこんなエッチなことができるなんて、私すっごく幸せです……」

【みさき】
「はい……。幸せついでにもっと気持ち良くしてあげますね……？」

【みさき】
「はむっ、んんっ……ぢゅるるるっ、んぢゅるっ！ じゅるるっ！」

【みさき】
「すごい気持ち良さそうな顔してます……。ぱくっ、んんっ……んぢゅるっ！ じゅるるるっ、ぢゅるるるるっ」

【みさき】
「いいですよ……いつでもイってください……熱くて濃いのをいっぱい出してください……このまま吸い出してあげますから……」

【みさき】
「んぢゅるるるっ！ じゅる！ じゅっぶっ、じゅっぶっ、じゅぶ……じゅるるるっ！」

【みさき】
「んんっ、はいっ……私の口の中にいっぱいくださいっ……！ あむっ、んんんっ、じゅるっ、じゅぶっ、じゅぶっ、ずりゅるるっ！」

【みさき】
「んむっ！？ んっ、んんんんんっ——！」

【みさき】
「んう……ん……じゅるっ、じゅるるるっ、んんう……ぢゅうううっ……んっ……ごくっ、ん……ああっ」

【みさき】

んっ……はあっ、はあっ、はあっ……す、すごい……いっぱい……出しましたね……」

【みさき】
「あはは……私は逆に元気をもらっちゃった気がします……はふう～」

【みさき】
「ううん、大丈夫です……私もすごい気持ち良かったですからっ」

【みさき】
「あんっ！ 恥ずかしいから見ないでくださいっ！ んもう……またパンツ履き替えなくちゃです……」

【みさき】
「お礼……ですか。ではそうですね、今日のお屋でもご馳走してもらいましょうか。あっ、もちろんデザート付きで！」

【みさき】
「本当ですか！？ ふふっ、楽しみですっ。……って、わわっ！ 気が付いたらもうこんな時間ですよ！」

【みさき】
「ですね！ ……あっ！ 一緒にシャワー浴びれば時間短縮できますよ！」

【みさき】
「あー……それは今度のお楽しみってことでっ♪」